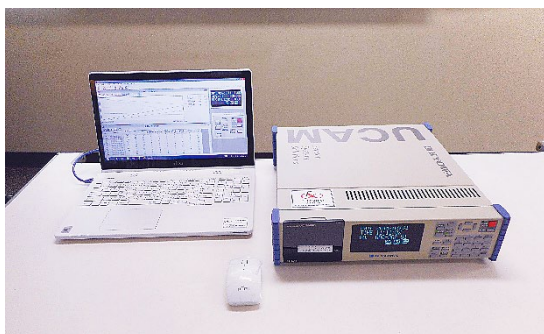
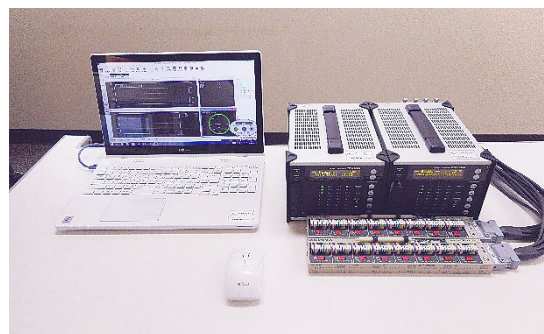


機械やその部品に加わる応力、発生する振動の大きさ、稼働時の温度などを測る装置です。

機械やその部品は、使用中の大きな負荷や長期使用による疲労破壊などに対して、十分な設計強度を持つ必要があります。本装置は、実機レベルで強度の検証するために、ひずみゲージをはり、その点の変形やひずみ（応力）の測定ができます。また、あわせて機械の稼働状態（振動や温度など）も同時に測定する機能を有しています。



静ひずみ測定部



動ひずみ測定部

使用例

- ・ 設計検証や破壊検証箇所にひずみゲージをはり、応力測定を行なう。
- ・ ロゼット解析により、測定値から主応力やせん断応力などを計算する。
- ・ 振動や温度など環境情報を測定する。

機器の仕様

メーカー (株)共和電業

型 式 UCAM-60B、EDX-200A

スペック ・ 静ひずみ測定部 30Ch.

Ch.ごとに、ひずみゲージ、ひずみゲージ式変換器、直流電圧、熱電対、白金測温抵抗体の設定が可能。

・ 動ひずみ測定部

交流動ひずみ測定 16Ch. 加速度測定 8Ch. 電圧測定 8Ch.

温度測定 K.T種 TC 8Ch.

・ データ解析ソフト DIAdem Advanced



RING!RING!
プロジェクト
競輪の補助事業

この装置は競輪の補助を受けて導入しました。

▶ お問い合わせは生産技術課（088-846-1653）まで